

インプラント治療

歯が抜けたり、無くなってしまったところにチタン製の人工歯根(インプラント)を埋め込み、人工の歯を被せる治療方法です。

インプラントの構造



この赤丸の部分のようにインプラントを埋入します。

歯を失うと？

- 見栄えが良くない
- 歯が無くなった方向に移動する
- 発音がしにくい

歯を失った場合、見栄えが良くないだけでなく、上下の噛み合わせが変わり、食べ物が噛みにくくなったり、あごや身体に影響が出る場合もあります。

従来の治療方法『ブリッジ・入れ歯』と新しい治療方法『インプラント』を以下で比較します。

従来の治療方法 (ブリッジ・入れ歯) と新しい治療方法『インプラント治療』との違い

治療前のお口の状態	従来の治療方法	新しい治療方法
<p>ブリッジ</p> <p>上図の矢印部分の歯を1本失ってしまった場合</p> <p>ブリッジとは失った歯の両隣の歯を支台の形(上図赤点線部分)に削り、その上に歯冠(上図青線部分)を乗せ固定する治療法</p> <p>【メリット】 ○治療期間が短い 【デメリット】 ○両隣の健康な歯を削る</p>	<p>インプラント</p> <p>【メリット】 ○見栄えが良い ○ブリッジのように、失った歯の両隣の歯を削る必要がない 【デメリット】 ○費用が保険適用外 ○全身疾患によっては治療を受けられない場合がある</p>	
<p>入れ歯</p> <p>上図の矢印部分の歯を2本失ってしまった場合</p> <p>入れ歯とは失った歯の代わりに入れ歯(上図の青線部分)を寄せ、金具等で両隣の歯に固定する治療法</p> <p>【メリット】 ○治療期間が短い 【デメリット】 ○入れ歯を固定する金具の異物感がある ○金具を固定する両隣の歯に負担がかかる</p>	<p>インプラント</p> <p>【メリット】 ○見栄えが良い ○入れ歯のように、金具による異物感やズレなどが生じない 【デメリット】 ○費用が保険適用外 ○全身疾患によっては治療を受けられない場合がある</p>	

正しい歯みがき、定期検診を受けましょう。